

■ 公認軟式野球コーチ 専門科目講習会カリキュラム

養成目的	競技者育成プログラムに基づき、都道府県内レベルで軟式野球競技者への基礎的・専門的な技術指導や組織の育成・指導にあたる指導者を養成する。
役割	競技者育成プログラムの指針に基づいた指導にあるとともに、エリア内の有望競技チームの指導にあたる。また各都道府県軟式野球連盟における、軟式野球指導員の講師として指導にあたる。
受講条件	受講年度の4月1日現在満22歳以上で、都道府県軟式野球連盟の推薦を受け、全日本軟式野球連盟の承認を得た者。
カリキュラム	共通科目 152.5h(共通Ⅰ+Ⅱ+Ⅲ)専門科目 62h
受講料	29,400円(共通科目 18,900円 専門科目 10,500円)
登録料(4年間)	12,000円(初回登録時のみプラス3,000円)
更新のための義務研修	資格登録有効期限4年間のうちに、最低1回は、全日本軟式野球連盟が定める研修または日本体育協会(都道府県体育協会が実施する研修を含む)が実施する(認める)研修を受けなければならない。
担当委員会	(財)全日本軟式野球連盟 資格審査委員会

区分	カリキュラム内容	時間数		
		集合	その他	計
種目の特性に応じた基礎理論	軟式野球のコーチの役割・制度	1h	1h	2h
	軟式野球の歴史的発展及び国際的動向	2h	2h	4h
	軟式野球の戦術・戦法論	2h	2h	4h
	軟式野球の特性を生かした体力トレーニング法	1h	1h	2h
	軟式野球指導法(レベル別・年齢別)	2h	2h	4h
	指導者としてのチームマネジメントとリスクマネジメント	2h	2h	4h
	指導者のコーチングスキルと心理学	2h	2h	4h
	スポーツ医学概論	2h	1h	3h
	軟式野球の選手のための栄養学	2h	0h	2h
	計	16h	13h	29h
実技	実技Ⅰ 守備編・ポジション別	4h	0h	4h
	実技Ⅱ 打撃編	3h	0h	3h
	実技Ⅲ チーム技能(投内、内外連携)	5h	0h	5h
	実技Ⅳ チーム技能(状況に応じた打撃と役割)	4h	0h	4h
	体力トレーニングとコンディショニング	2h	0h	2h
	現場における救急処置(AED、救急法)	1h	0h	1h
	計	19h	0h	19h
指導実習	個人技能の指導	2h	2h	4h
	年齢別の指導	3h	3h	6h
	指導計画作成	2h	2h	4h
	計	7h	7h	14h
		42h	20h	62h